

2021年度有峰蛾類分布調査-5

報告：霜鳥 智也

編集：田島 敏美

【実施日時】 6月15 19:00～6月16 日5:30

【天候】 曇り 【気温】 17℃～8℃

【月齢】 大潮 (1.7→2.7)

【実施方法】 灯火採集法 (ライトトラップ)

有峰は、ブナやミズナラが分布している標高1000～1300mの高原盆地です。有峰で記録された蛾類の種類は24科931種で、確認された最大の科はヤガ科の340種です¹⁾。6月12日～13日に引続き6月15日～16日に第5回目の蛾類分布調査を実施したので報告します。天候は曇りで推移しました。飛来した蛾類の一覧表を表示します。飛来した蛾類の同定は、日本産蛾類標準図鑑他を参考に実施しました^{2～3)}。有峰に分布するヤマユガ科は、オオミズアオ、オナガミズアオ、ヤマユガ、ウスタビガ、クロウスタビガ、クスサン、エゾヨツメ及びヒメヤマユガの8種が知られています¹⁾ 今回の調査では、オオミズアオ♂1とオナガミズアオ♀1が、21時前後の比較的早い時間帯に飛来しました。エゾヨツメの飛来はありませんでした。シャチホコガ科は65種が同定されています¹⁾。シャチホコガ科では、未同定の5種を含むシャチホコガとアオセダカシャチホコが飛来しました。アオセダカシャチホコの飛来時間帯は、23時でした。ヤガ科は既に340種が同定されています¹⁾。今回はヤガ科の飛来はほとんどありませんでした。シャクガ科は既に225種が確認されています¹⁾。今回シャクガ科ではウスキツバメエダシャクが比較的早い時間帯に飛来したほか、キアミメナミシャクも飛来しました。スズメガ科ではクロハウジャク、ハネナガブドウスズメ及びエゾシモフリスズメが飛来、飛来時間帯は深夜に及びました。ヒトリガ科は27種が同定されています¹⁾。今回もアカハラゴマダラヒトリが飛来しました。また、コブガ科のアオスジアオリングアやカレハガ科のリンゴカレハも飛来しました。蛾類も初夏の蛾にシフトしはじめています。今後も有峰に分布する寄主植物(食樹)との関係も含め、蛾類の分布調査を継続していきます。

【引用文献】

- 1) 富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊(昭和56年7月)
- 2) 岩田泰則著：日本蛾類標準図鑑 I II/学研
- 3) 岩田泰則他著：日本のヤマユガ/(有)むし社

科名	種名	飛来頭数	飛来時間帯
ヤマユガ	オナガミズアオ	♂1	20:30
シャチホコガ	ブナアオシャチホコ	♂2	21:00～23:00
	シャチホコガ	♂2	20:30～22:00
	種未同定4種		21:00～2:00
スズメガ	クロハウジャク	♂3 ♀2	22:00～23:30
	ハネナガブドウスズメ	♂4 ♀1	21:30～2:30
	エゾシモフリスズメ	♂2	23:00～1:00
シャクガ	キアミメナミシャク	♂1	23:00
	ウスキツバメエダシャク	♂1	20:30
ヒトリガ	アカハラゴマダラヒトリ	♂3 ♀1	22:00～24:00
カレハガ	リンゴカレハ	♂3 ♀2	22:30～1:30
コブガ	アオスジアオリング	♂2	22:30～1:00



点灯後のライトトラップの様子



飛来したウスキツバメエダシャク♂



飛来したハネナガブドウズズメ♂



飛来したハネナガブドウズズメ♂



飛来したオナガミズアオ♂



飛来したアオスジアオリంగా♂



飛来したクロホウジャク♂



飛来したクロホウジャク♂



飛来したキアミメナミシャク



飛来したシャチホコガの一種



飛来したシャチホコガの一種



飛来したハネナガブドウスズメ



飛来したシャチホコガの一種



飛来したエゾシモフリスズメ



飛来したシャチホコガの一種